

茅ヶ崎市文化団体協議会では、茅ヶ崎市とホノルル市郡との姉妹都市提携は、異文化交流を実現するチャンスと捉え、ホノルル視察研修1の参加を募り渡航しました。これにより、生まれようとしている文化交流、今後取り組む事業を現地の様子とともに報告いたします。

ご協力御礼 ありがとうございます・・・
茅ヶ崎市、ホノルル市郡、茅ヶ崎市姉妹都市交流特別大使平田梨花氏、松元裕之監督、本派本願寺ホノルル別院、Japanese Cultural Center of HAWAII、100th Infantry Battalion Veterans、ハワイ報知社、KZOOラジオ局、日本習字ハワイ支部、宗明太鼓、HIS、茅ヶ崎市ホノルル姉妹都市交流委員会



書道教室
訪問
日本習字ハワイ支部

ブランドン ゴウダ先生のお教室を訪問。中学生から高齢の方まで参加されており、茅ヶ崎からプレゼントに持参した豆色紙に書かれた文字の意味、漢字、墨などについて熱心な質問が寄せられました。

七五三
プロジェクト
準備中

文化交流を目指す文団協では、ホノルルの歴史的背景を知るため、ハワイ王国の資料展示、映画「Go for Broke!-ハワイ日系二世の記憶-」上映会などを開催してきました。視察研修にあたっては、現地で日本人移民の歴史、苦難と功績を伝えるJCCH（日本文化センター）を訪問し、ハヤシノ専務理事と懇談。センターの活動、平和事業についてお聞きし、展示館を見学しました。日系移民が過酷なプランテーション労働の中で大切にしていたことは、子弟への教育でした。展示室入口には、感謝、義理といった「大切にしたい」言葉が石碑に刻まれています。



JCCHは、寄付によって運営されている民間団体で、寄付された和の小物、着物、人形などが販売され活動資金の一部になっています。今後、七五三用の着物、帯、袴、小物など茅ヶ崎市内で募り、寄贈することで役立てようと企画を検討しています。

報告レポート



Honolulu流
BON DANCE
=盆踊りを訪ねて

文団協の姉妹都市ホノルル視察研修 I
2016年6月22～27日

主催 茅ヶ崎市文化団体協議会
CHIGASAKI CULTURAL CONFERENCE

書道作品の交流が決定

ホノルル近郊の日本習字の先生方のご協力で、今年の市民文化祭書道展11月18～20日にホノルルからの作品参加が決定しました。先生方の来日予定もあり、交流を深めるため調整中です。



映画監督松元氏のご紹介で訪問した第100歩兵大隊の退役者が集うクラブハウスでは、大変暖かい歓迎を受け画像をフェイスブックで紹介して下さいました。帰国後、次回は隣接の小学校にある茶道教室を紹介したいとのメールもいただき、今後の交流の可能性を探ります。

日系移民

背景をしっかりと知る
退役軍人との懇談

第二次世界対戦中、真珠湾攻撃に直面したハワイの日系人。多くの若者が志願してアメリカ兵となり、主にヨーロッパ戦線で活動。その類い稀な功績を讃えられました。そして日系人への畏敬が生まれ、全米で一番人種差別が少なく、暮らしやすいハワイ州が誕生したとも言われています。当時16歳で通信兵として従軍された退役軍人（ベテラン）の方々と交流会を本願寺ハワイ別院さんが手配くださいました。参加者にとって、大変印象深く、続くパールハーバー見学、非公開の100大隊クラブハウス訪問でもとても暖かい歓迎を受け心に残ります。今後も相互理解のため、このような歴史的背景を茅ヶ崎市民へ紹介する機会や交流を作っていくべきとの声も上がっています。

赤とんぼ音頭
で交流を
宗明太鼓訪問



「赤とんぼ」が結ぶ交流
祭太鼓のSOUMEI TAIKOの訪問中でした。世界の名曲「赤とんぼ」は、茅ヶ崎で作曲されたことを紹介し、知ってる？と問いかけ、歌い出すと、どんとんと歌声が重なり、ついには、篠笛でメロディーを吹いてくださる方までありました。みんなが知っている「赤とんぼ」を音頭に編曲し、茅ヶ崎とホノルル双方で太鼓を合わせ、振り付けをして、離れていても、一緒に盆ダンスを楽しむ交流を提案しています。茅ヶ崎の盆踊りで、試奏が始まっています。



ホノルル市郡庁舎への表敬訪問では、アメリヤ副市長と面談。文団協の活動を紹介し、華道等の作品をご説明（画像）したり、詩吟を披露しました。参加者は、華道、書道、吟剣詩舞、映像演劇、祭囃子、創作音楽部会からの11名でした。

茅ヶ崎の
図書館などへ
書籍を推薦

「アロ八年鑑」を推薦します。ハワイ州の沿革が歴史、行政、産業など様々な面から紹介されており、2年に一度改訂し発行されています。発行部数は500部と少なく、日本国内での購入は難しいようです。（ハワイ報知社発行1冊9ドル）ホノルルを知る一助となる図書として図書館など公共施設に推薦します。



ホノルルでもMANGA(マンガ)はポピュラーです。上記は、日系人部隊第100歩兵大隊と第442連隊を取り上げています。マンガに登場する本人、そして筆者も同席のもと交流会の機会を得ました。若い世代に知ってもらおうと、同世代の筆者が活動しています。日本で紹介する許諾をいただき、ホノルル市民の平和活動の資料として、茅ヶ崎市の平和事業委託団体に報告しました。

トラブルや
費用負担報告

通常の観光ツアーと違い、特殊手配の多かった視察研修では、ドライバーに時間と行き先が伝わっていなかったり、タクシーが道を間違えたのか、ボラれたのか？わからない、などのトラブルもありました。しかし、ケガや病気は無く無事終了することができました。

費用負担の内訳報告

参加者11名
参加者個人負担 1人155000円
参加者よりの寄付 約33000円
文団協負担 114716円
*訪問先への謝礼、寄付とタクシー利用について文団協研修費を充当しました。



ホノルルでは、6～9月が盆踊り＝盆ダンスシーズンです。毎週末どこかで1000人規模の盆踊りがあるとされ、日程が新聞に発表されます。浴衣や羽織に短パン、ジンベエなど和風な人が多く、踊りの先生方は敬愛を表して贈られたレイやクワイのネックレスをしています。アップテンポの曲が多いようで、エイサーなども披露されます。訪問した本願寺ホノルル別院では、年間を通して盆ダンス練習会があり年代を問わず楽しまれています。講堂では、和服レンタル&撮影会も開催されていました。



盆ダンスに訪れたホノルル市長(中央)と

